

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

インフルエンザ

定点あたり患者数は今週 **38.62 人** (先週 26.53 人) と増加し、警報基準である定点あたり患者数 30 人を超えました。

地域的には尼崎市 (61.73 人)、伊丹 (58.08 人)、加古川 (50.86 人) をはじめとする 11 保健所管内が警報基準以上、丹波を除く 5 保健所管内が注意報基準である定点あたり患者数 10 人以上となっており、流行は全県的に拡大しています。

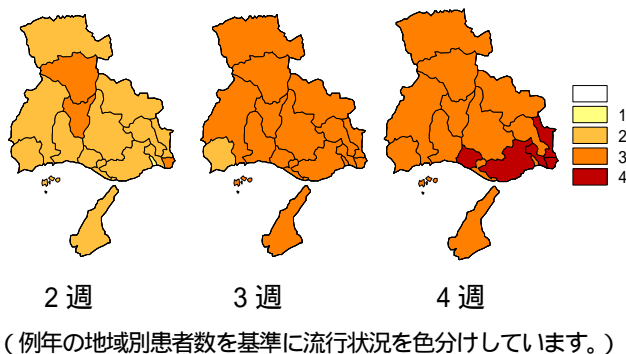
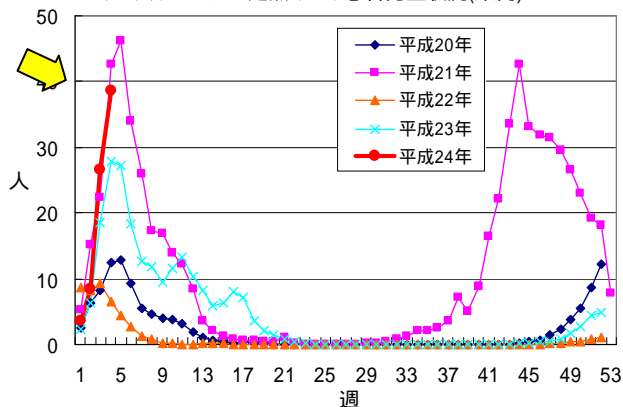
今週報告されたインフルエンザ患者 7,686 人の年齢分布は先週と大きな変化はなく、0~4 歳 20.9%、5~9 歳 39.6%、10~14 歳 23.0%、15~19 歳 2.5%、20~29 歳 2.1%、30~39 歳 4.6%、40 歳以上 7.2% で、15 歳未満が全体の 83.5% を占めています。

インフルエンザによる学校 (保育所・幼稚園を含む) 臨時休業情報 (第 4 週) では、休校が 10 施設から、学年閉鎖が 65 施設から、学級閉鎖が 330 施設から報告されています。

当研究所では今シーズン、県内の患者 90 名の検体から 76 件の AH3 亜型 (A 香港型) インフルエンザウイルス (陽性検体の 90%) と、8 件の B 型インフルエンザウイルス (同 10%) を検出しています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

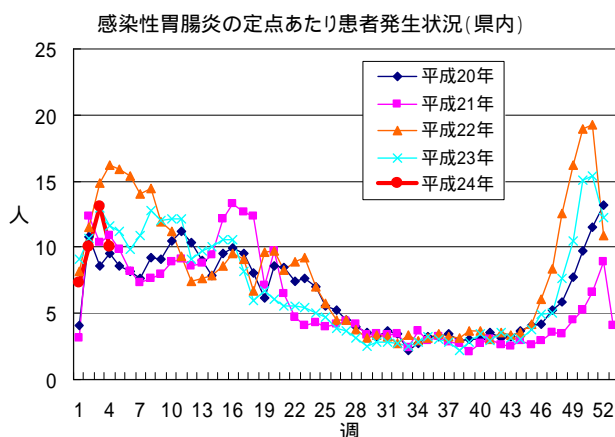
インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **9.99 人** (先週は 13.06 人) と減少しました。地域的には中播磨 (23.00 人) 及び朝来 (23.50 人) の 2 保健所管内が警報基準である定点あたり患者数 20 人以上となっています。

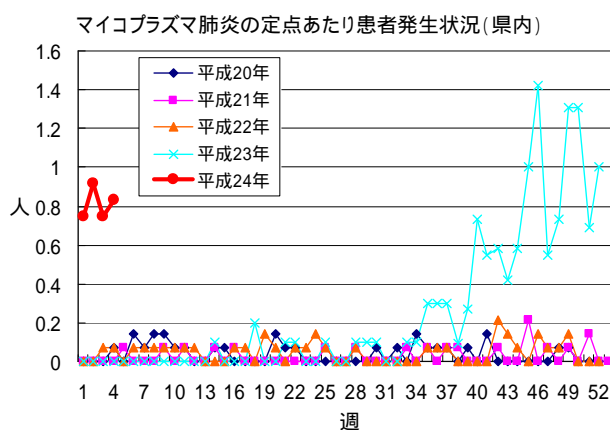
この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多くと言われています。ノロウイルスは患者の大便や吐物中に大量に含まれており、感染力が非常に強いウイルスです。感染を拡大させないためには、手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。



マイコプラズマ肺炎

定点あたり患者数は今週 **0.83 人** (先週は 0.75 人) と増加しました。依然例年に比べて患者数の多い状態が続いています。全国的にも患者数が多く、注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は肺炎マイコプラズマを病原体とする呼吸器感染症で、感染患者からの飛沫感染や接触感染により伝播するといわれています。特異的な予防方法はありませんが、流行期には手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚接触をさけることが重要です。



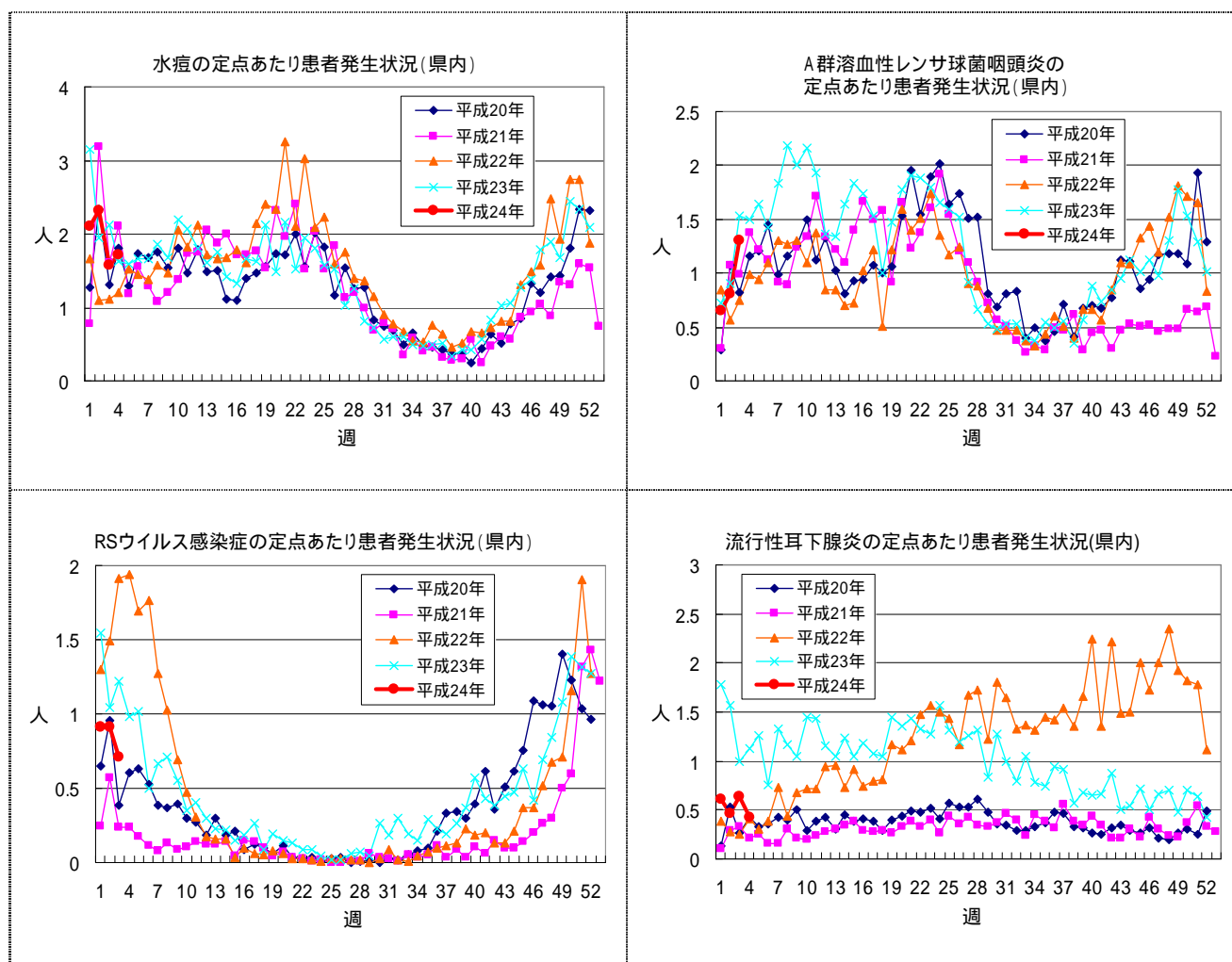
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	インフルエンザ	38.62	26.53	+ 12.09	6 位	RS ウイルス感染症	0.72	0.71	+ 0.01
2 位	感染性胃腸炎	9.99	13.06	- 3.07	7 位	突発性発しん	0.57	0.64	- 0.07
3 位	水痘	1.71	1.58	+ 0.13	8 位	流行性耳下腺炎	0.42	0.64	- 0.22
4 位	A 群溶血性球菌感染症	1.36	1.31	+ 0.05	9 位	流行性角結膜炎	0.31	0.31	± 0.00
5 位	マイコプラズマ肺炎	0.83	0.75	+ 0.08	10 位	伝染性紅斑	0.18	0.33	- 0.15

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 22 名 （神戸市 14 名、尼崎市 1 名、姫路市 1 名、芦屋保健所管内 1 名、伊丹保健所管内 1 名、加古川保健所管内 2 名、龍野保健所管内 1 名、赤穂保健所管内 1 名）
3 類感染症	報告はありません。
4 類感染症	デング熱 1 名 （神戸市；デング熱 女性 20 歳代 感染地域；国外、感染経路；動物・蚊・昆虫等からの感染）
5 類感染症	アメーバ赤痢 2 名 （神戸市；腸管アメーバ症 男性 50 歳代 感染地域；不明、感染経路；不明、加東保健所管内；腸管アメーバ症 男性 40 歳代 感染地域；国内、感染経路；同性間性的接触）
追加報告	結核 9 名 （尼崎市 2 名、加古川保健所管内 4 名、加東保健所管内 2 名、龍野保健所管内 1 名）、 E 型肝炎 1 名 （神戸市；女性 70 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）、 後天性免疫不全症候群 1 名 （無症候性キャリア）（感染地域；国内）（感染経路；同性間性的接触）

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
 また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センター - の週報 (IDWR) がダウンロードできます。